

# MOT

## Management of Technology

MOTスクール 東京校／大阪校

鍵は

技術マネジメントにあった。



経営層に求められる MBA+ 最新 MOT とは。

グローバル化、IoT 化、AI 化に対応、進化する技術マネジメントとは。

技術が判る、経営が判る、そんな次世代イノベーションリーダーの育成とは。

オンリーワンを産み出す Management of Technology (MOT) とは。

### グローバル化、IoT化、AI化に対応、進化する技術マネジメントとは。

ご存知の通り、IT系などの最先端企業ではMOT人材の育成、発掘に躍起になっています。急速に変化する経済社会においては、柔軟性と即対応力の高い技術マネジメント(MOT)人材が求められます。当社のMOTカリキュラムでは、時代に即した実効性、持続性の高い、進化可能なMOT教育を体験、修得して頂きます。

### 経営層に求められるMBA+最新MOTとは。

MBAにおける重要な研究領域として位置づけられているMOT(技術マネジメント)の分野を「実学」として学び、速効性に優れたMBA+MOTの陣形構築が求められています。しなやかで、持続性のある強い組織作りはこの陣形構築から始まります。

### 技術が判る、経営が判る、そんな次世代イノベーションリーダーの育成とは。

次世代イノベーションリーダーには技術を含む経営全体を俯瞰する力に加え、判断力、決断力、実行力が求められます。当社のMOTカリキュラムでは、これらの力を向上させるための基礎知識を学んで頂きます。

迷いを無くすことは出来ませんが、迷いを減らすことは十分可能です。

### オンリーワンを産み出すManagement of Technology (MOT)とは。

オンリーワンを産み出すためには、オンリーワンを創り上げる人材の育成が求められます。技術マネジメント教育では、原点である技術と経営についてのメソッドを修得して頂き、個人とチームのベクトルを調整し、オンリーワン創出の最短距離を模索して頂きます。

(1) 経営・基礎	技術経営を学ぶために、必要な基礎理念や戦略的・創造的思考能力について学ぶ。	イントロダクション 経営・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 創造的思考法・リーダーシップ</li> <li>● 財務・会計</li> <li>● ファイナンス 事業価値評価</li> <li>● 経営戦略</li> <li>● 競争戦略</li> </ul>
(2) 技術経営 (MOT)	技術経営を理解し、技術マネジメントに必要な知識を認識する。また、技術戦略的思考を身につける。不確実性の高い中、価値創造や差別化戦略、ビジネスモデルについて学ぶ。	技術戦略  技術マネジメント  知的財産戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全社技術戦略</li> <li>● イノベーション戦略</li> <li>● オープンイノベーション</li> <li>● R&amp;Dマネジメント</li> <li>● R&amp;D戦略と技術ロードマップ</li> <li>● 技術マーケティング</li> <li>● 新事業開発</li> <li>● 知的財産戦略</li> </ul>
(3) 実践力	技術経営実践力を高める。事業化の推進を行うためのプロジェクト組織やその進め方について実践に備える。創造的シナリオプランニングを学ぶと同時に、テーマごとにプロジェクト運営とビジネスプランニングの実践を行う。	プロジェクトマネジメント  事業化プランニング・トレーニング  実践ビジネスプランニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変革プロジェクトマネジメント</li> <li>● アントレプレナーシップ</li> <li>● シナリオプランニング</li> <li>● ビジネスプランニング</li> </ul>
(4) 特別講義	実務家、企業経営者、CTOなどによる実践事例を紹介する特別講義を実施。	特別講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知財視点・三位一体の経営</li> <li>● 最新のグローバル戦略とグローバル人材</li> <li>● 新技術・新商品創造の事例 など</li> </ul>

### Lecturer and professional field

MOT概論	創造的思考法	ファイナンス	イノベーション戦略	R&D戦略	イノベーション経営	プロジェクトマネジメント	ビジネスプランニング
							
延岡 健太郎氏 一橋大学イノベーション 研究センター センター長/教授	小山 龍介氏 株式会社 ブルームコンセプト 代表取締役	砂川 伸幸氏 京都大学 経営管理大学院・ 経済学研究科	玄場 公規氏 法政大学大学院 イノベーション・ マネジメント研究科 教授	西野 和美氏 一橋大学大学院 商学研究科 准教授	大津留 榮佐久氏 九州大学ビジネス・スクール 客員教授	芝尾 芳昭氏 イノベーションマネジメント 株式会社 代表取締役	森上 隆史氏 プライマルホールディング 株式会社 代表取締役

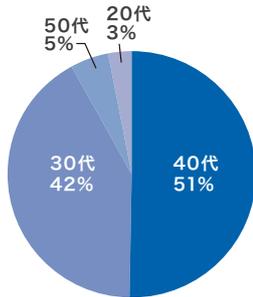


**Profiles** MOTを学び、イノベーションリーダーを目指す人たちはこんな方々です

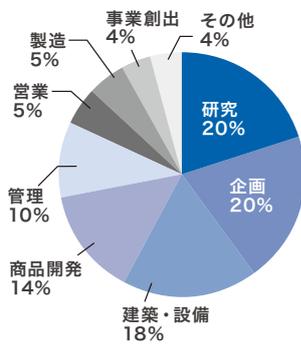
■ 受講人数



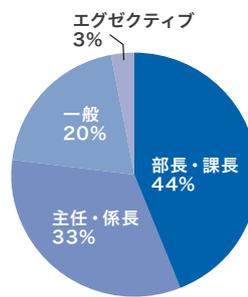
■ 受講生の年齢層



■ 受講生の職種



■ 受講生の役職



■ 受講満足度



※アイさぼーとMOTスクール事務局調べ

**Fields of Trainee** 受講された方々の属する業種

エネルギー、化学、機械、硝子、半導体、IT、鉄鋼、金属、製薬、車、食品、建設

**Voice of Trainee** 受講された方々の声



東洋株式会社 / 生産技術 / 課長

**中村 隆徳 氏**

収益化と事業を俯瞰的に見る視点を身につけることができました

考え方が変わりました。事業を俯瞰的に見ることで、事業を拡大するためには、また、儲かるためにはどうすればいいのか？という観点で考えるようになりました。仕事のやり方や気持ちの面で大きく活かせていると感じています。



株式会社関電工 / 情報通信 / 副長

**沼波 秀行 氏**

市場変化を読み、技術を事業化する流れが理解できました

市場変化を予測し、顧客価値を高める製品・サービスを考える事。それを競争優位に確立・維持する事業モデルの仮説をたて、小さく検証していく事業化の流れがよくわかりました。受講後は経験を積み、より高度な実践を目指しています。



オムロン株式会社 / 研究 / 主査

**土屋 直樹 氏**

同期生との議論を通して率直な意見を言い合える人脈を形成

各回の講義でのグループワークによりMOTを実践的に学ぶことができました。また、同期生との議論を通し、様々な事業領域の価値観を知るとともに、率直な意見を言い合える人脈が形成できることは大きな魅力だと思います。



株式会社東光高岳 / 設計 / 課長

**山下 浩司 氏**

業務に活かすヒントが満載です

講義やメンバーとの議論を通じて、自分にはなかった視点や考えを体感でき、また異業種への関心も含めた視野の広がりがイノベーションには必要不可欠であることを実感しました。業務に活かせるヒントが満載でした。

**講義と受講生、両方から刺激を受けました**

講師陣の講義内容から得るものと、参加している受講生同士の刺激から得るもの、その両輪があってひとつの価値を形成しているような研修だったと感じました。

(情報処理・男性・39歳)

**チームを牽引していくスキルを修得**

多くのスキルを身につけることができました。若手育成につながる取り組みもあり、今後はチームを牽引していくマネジメント力として、そのスキルを活用していきたいです。

(医薬品・男性・42歳)

**講義内容をまとめ実務で使えるツールに**

講義で学んだ内容の中でも、特に重要だと思った項目をまとめ、自社の開発計画の際に使用しています。いつでも使えるツールとしてこれからも大切にしたいです。

(電気機器・男性・29歳)

**交流を通じて頼れる同志ができました**

受講生たちとの共同検討や、コミュニケーションを重ねる中で互いの体験談や業務の話は、とても興味深かったです。何かあった際に頼れる同志ができたことはありがたいです。

(エネルギー・男性・28歳)

**多くの人とMOTの価値を共有したい**

実際にMOTを受講してみて初めて分かることも大変多かったです。職場で一人でも多くの人とMOTの価値を共有し、学んだ知識を活かしていきたいと思っています。

(電気機器・男性・40歳)

**物事を俯瞰的に捉えられるように**

自社の事業や新規事業について、自らの考えを持つようになりました。実務のさまざまな課題・問題に対しても、物事を俯瞰的に捉えることができました。

(機械・男性・42歳)

第15期  
2018年  
6月  
開講

# 東京校

Management of Technology TOKYO

期 間 / 2018年6月 ~ 2019年3月  
講 義 数 / 年間60コマ (1コマ2時間30分)  
[平日1~2回/週および土曜日2回/月程度]  
講義時間 / 18:30~21:00 [土曜日は10:00~16:00]  
受 講 料 / 950,000円 [教材費込・消費税別]  
定 員 / 20名

## 一般社団法人電気倶楽部

新有楽町ビル10階

[最寄駅: JR有楽町駅・地下鉄有楽町線有楽町駅]  
(都合により会場が変更となることがあります)



第17期  
2018年  
10月  
開講

# 大阪校

Management of Technology OSAKA

期 間 / 2018年10月 ~ 2019年9月  
講 義 数 / 年間80コマ (1コマ2時間30分)  
[平日1~2回/週および土曜日2回/月程度]  
講義時間 / 18:30~21:00 [土曜日は10:00~16:00]  
受 講 料 / 950,000円 [教材費込・消費税別]  
定 員 / 20名

## 大阪ガス研修センター

明治安田生命大阪御堂筋ビル12階

[最寄駅: 地下鉄御堂筋線淀屋橋駅、  
京阪電鉄淀屋橋駅]



お申込み締切日 2018年5月31日(木)



お申込み締切日 2018年9月29日(土)



### Recommend

このような方々にお勧めいたします  
部長・課題クラスの技術者、技術をコアとする企業で働くマネージャー等を中心に、幅広い業界の方に受講いただけます。受講者の中には現在の業務上の課題を解決したい方、これまでの業務経験を体系化したいという方も多くおられます。また、新たな価値観や人脈と出会える、異業種交流ネットワークの場としても活用していただいています。技術と経営を包括的に理解し、企業の「全体最適」を導くマネジメント力を磨いてください。

- 経営者
- 研究・開発責任者
- 新規技術企画責任者
- プロジェクトリーダー
- 技術者(管理職)
- 開発担当者(管理職)
- 幹部候補生
- 技術系ベンチャー起業家 …他

### ■ お問合せ・お申込み先

お申込みの際は、「貴社名」「ご担当者様氏名・部署名・ご連絡先(電話・メールアドレス)」

「受講者様氏名・部署名・ご連絡先」を下記メールアドレスまでご連絡ください。

◎お申込みいただいた場合は、下記の個人情報の取扱いについてご了承いただいたものとさせていただきます。



大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 HR事業本部 「アイさぽーと MOTスクール」事務局

TEL.06-6205-4831 FAX.06-6205-4764 Email:mot-staff@isupport.jp

### ■ ご提供いただきます個人情報の取扱いについて

当社は、アウトソーシング事業、情報通信事業、駐車場事業、施設運営管理事業、人事サービス事業など幅広く事業を展開しており、それぞれの事業分野における個人情報の取扱いについて、各事業分野の業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制及び管理手順を確立し、次の事項を含む個人情報保護方針を定め、これを実施し、かつ、維持することを宣言いたします。

1. 当社は、すべての事業で取扱う個人情報及び従業員等の個人情報の取扱いに関し、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。さらに、日本工業規格「個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」(JIS Q15001)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、個人情報を保護いたします。
2. 当社は、個人情報の取得、利用にあたっては、その利用目的を特定することとし、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱い(目的外利用)はいたしません。また、目的外利用を行わないために、適切な管理措置を講じます。
3. 当社は、ご本人の同意を得ている場合や法令にもとづく場合等を除き、取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

4. 当社は、個人情報の取扱いに関する苦情及び相談を受けた場合は、その内容について迅速に事実関係等を調査し、合理的な期間内に誠意をもって対応いたします。
  5. 当社は、取得した個人情報を適切に管理するため、組織的・人的・物理的・技術的な安全対策措置を講じ、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正に取り組みます。
  6. 当社は、社会情勢・環境の変化を踏まえて、継続的に個人情報保護マネジメントシステムを見直し、個人情報保護への取り組みを改善していきます。
- 制定:2005年2月1日 最終改定:2018年4月1日  
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 代表取締役社長 乾俊之  
[個人情報保護方針についてのお問い合わせ先]  
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 苦情・相談窓口 (総務部 個人情報保護担当)  
電話:06-6446-4300 (受付時間:平日9時~17時)  
E-mail:somu@ogbc.co.jp